

## 年中 新しい友達

今、年中ではえんまつりへ向けて、1人一体の動物を作っています。それは哺乳類から魚、虫、恐竜など、想像の世界にまでバラエティに富んでいます。

自分の作りたい生き物を作っていると・・・

自分でポーズを取りながら「僕はこうやってピョーンって跳ぶカエルがいいんだ。だからここに足がつかないと」

恐竜の本を持ってきて「ほら、足の先が3つに分かれてるんだ」

本人なりにこだわりが見えて、私はこの気持ちが見えた時がとっても楽しくて、にやついてしまいます。



「そしたらそれは何を使ってどこにつけるの？」  
自分でイメージした形を、さらに他の素材に例えて表現していく試行錯誤。

でも、ここを一緒にああでもないこうでもないと右往左往しながらもできあがった時の子どもたちの表情は格別なものがあります。子どもの手が加わるたびに、ひとつひとつの工程が、生命を吹き込んでいるかのように愛着もわいてくる様子。まだ顔もない途中の現在ですが、子どもたちにとっては新たな友達として、お散歩やおままごとに参加させている様子は微笑ましいです。

年中主任 2021.10.20

